

令和2年度 愛知学泉大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	実務経験のある 教員による授業 科目	基礎・専門 別	単位数	選択・必修 別	開講年次・ 時期
220211030	健康管理概論 Introduction to Health Administration	太田 貴久		専門	2	必修	1年前期

科目の概要

健康について理解し、健康づくりの概念と歴史、わが国の疾病状況および高齢化の現状を学ぶ。さらに、保険医療・介護の制度について学修する。特に、生活習慣と生活習慣病、メタボリックシンドロームの予防に関する施策ならびに介護予防についての理解を深める。また、メディカルチェックについての様々な事例を通して、科学と健康の関係を学修する。
放射線・水環境・化学物質など地球環境と自分たちの生命・生活との関わりについての認識を深める。健康で安全な生活を営むために、国際的取り決め（条約や議定書など）の策定と共に、身近な生活環境保全のための行動が求められる。また、大気汚染や廃棄物などの原因と対策について学ぶ。
本科目は、健康運動実践指導者の資格取得のための科目である。

学修内容	到達目標
健康・生活習慣病等の概念とその予防を学ぶ。 地球の環境（大気圏、水圏）の基礎知識を得る。 公害と環境汚染、地球規模の環境問題の基本的な原因や仕組みを理論的に学ぶ。 環境に関する法制度を学ぶ。 地球環境を守るための対策を理論的に学ぶ。	健康・生活習慣病等の概念とその予防が説明できる。 地球の環境（大気圏、水圏）について説明できる。 公害と環境汚染、地球規模の環境問題の基本的な原因や仕組みを理論的に説明できる。 環境に関する法制度が説明できる。 本講義を通して専門家としての基盤となる知識を身につけ、地球環境を守るための対策や課題解決に向けた方策を理論的に立案できる能力を習得する。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	主体的に予習や復習をし、生活習慣病の予防や環境問題について理解する。授業内容に疑問点を見つけた時は、自己学習などを通して積極的に行動し、問題点を解決できる。
	働きかけ力	
	実行力	図書館やインターネット等で論文や関連する文献を見つけて読むことができる。予習・復習を通して得られた知識を整理し、自らの専門性を高め、問題の解決策を提案することができる。
考え抜く力	課題発見力	生活習慣病や環境問題に関する今後の課題を発見する。学習を通じて生じる疑問点や理解不足の内容についてノートにまとめ、調査した内容を理解することができる。
	計画力	
	創造力	私たちの健康や身の回りの環境が、どのようにすれば将来良くなるかについて創造することができる。
チームで働く力	発信力	私たちの健康や身の回りの環境に関する問題に対し、自分なりの解決策を発信することができる。
	傾聴力	講義を集中して受講し、意見や質問をすることができる。学習した知識を基に、自らの意見を述べることができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	決められた時間内に生活習慣病や環境問題に関する適切な解決策を発表することができる。授業に支障をきたさず行動をせず、ルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

教科書：カレント 改訂 社会・環境と健康 公衆衛生学（建帛社）
参考書：国民衛生の動向、国民福祉の動向、厚生労働白書などの各年度版
テキスト健康科学（南江堂）、生活環境論（南江堂）

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：公衆衛生学、公衆衛生学、社会福祉論
資格との関連：管理栄養士、栄養士、食品衛生監視員、健康運動実践指導者、栄養教諭

学修上の助言	受講生とのルール
授業の始めに、前回の内容を確認するための小テストを行うので、しっかり復習しておくこと。	私たちの健康や生活習慣病、さまざまな環境問題を学ぶため、教科書や授業ノート、プリントだけでなく、関連する書籍や論文、インターネットや新聞なども見る習慣をつけること。

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント			
学修成果	学期末試験	70	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> 授業で学習した内容の理解度や主体的に学習しているかを確認する。そのため、記述式・論述式の問題を中心に出题する。 次の到達レベルをもって合格の基準とする。 健康づくりの概念と歴史、わが国の疾病状況および高齢化の現状、加えて保険医療・介護の制度について理解できる。環境に関する法制度に基づく環境対策が理解できる。公害と環境汚染、地球規模の環境問題について、基本的な原因や仕組みが理論的に理解できる。・・・S 健康づくりの概念と歴史、および保険医療・介護の制度について理解できる。環境に関する法制度に基づく環境対策が理解できる。公害と環境汚染について、基本的な原因や仕組みが理解できる。・・・A 健康づくりの概念と歴史、環境に関する法制度や環境汚染について、原因や仕組みが理解できる。・・・B 健康づくりや環境汚染、環境問題の原因や仕組みが理解できる。・・・C Cのレベルに達していない。・・・F 		
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
			⑤	✓			
	平常評価	小テスト	10	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> 毎回の小テストを平均して評価する。 出題範囲は、前回の授業で学習した内容とする。 	
				②	✓		
				③	✓		
				④	✓		
				⑤	✓		
		レポート			①		
					②		
					③		
					④		
					⑤		
		成果発表 (プレゼンテーション・作品制作等)	10		①	✓	最新の健康づくりや生活習慣病対策、環境問題に関する情報を見つけ出す。自らの考えをまとめ、問題を改善するために実行できる具体的な対策を発表する。
					②	✓	
					③	✓	
					④	✓	
					⑤	✓	
学修行動	社会人基礎力(学修態度)	10	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> (主体性)自ら進んで予習や復習をし、健康づくりや環境問題について理解する。 (実行力)図書館等で論文や関連雑誌を見つけて読むことができる。 (課題発見力)生活習慣病や環境問題に関するこれからの課題を発見する。 (創造力)私たちの健康や身の回りの環境がどうすれば将来良くなるかを創造する。 (発信力)私たちの健康や身の回りの環境に関する問題に対し、自分なりの解決策が発信できる。 (傾聴力)講義を集中して受講し、意見や質問をすることができる。 (規律性)決められた時間内に生活習慣病や環境問題に関する適切な解決策が発表できる。 		
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
			⑤	✓			
総合評価 割合		100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)の基準
健康づくりの概念と歴史、わが国の疾病状況および高齢化の現状、加えて保険医療・介護の制度について理解できる。 公害と環境汚染、地球規模の環境問題について、基本的な原因や仕組みが理論的に理解できる。 環境に関する法制度に基づく環境対策が理解できる。 さまざまな環境問題に対する解決策を根拠に基づいて考えられる。 上記の基準に従い、筆記試験・小テスト・課題・発表などを総合的に評価し、特に優れているものをS(秀)、優れているものをA(優)とする。	健康づくりの概念と歴史、および保険医療・介護の制度について理解できる。 公害と環境汚染、地球規模の環境問題について、基本的な原因や仕組みが理解できる。 環境に関する法制度に基づく環境対策が理解できる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	健康(1) ・健康の概念、生活習慣変容について学ぶ。 ・健康づくり施策の現状とその変遷について学ぶ。	講義	健康と健康増進の概念、歴史、生活習慣変容の重要性について説明できる。 わが国の健康づくり施策の現状と、その歴史的変遷について説明できる。	(予習)教科書 p(1-9, 26-39)をよく読み、ノートにまとめる。 (復習)授業を復習し、内容をまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力
2週 /	健康(2) ・生活習慣病等の概念と運動による予防効果について学ぶ。	小テスト 講義	生活習慣病などの概念と運動による予防効果について説明できる。	(予習)教科書 p(54-79)をよく読み、ノートにまとめる。 (復習)授業を復習し、内容をまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力
3週 /	健康(3) ・高齢社会の現状、介護予防の重要性について学ぶ。	小テスト 講義	わが国の高齢社会の現状、介護予防の内容と運動の重要性について説明できる。	(予習)教科書 p(105-144)をよく読み、ノートにまとめる。 (復習)授業を復習し、内容をまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力
4週 /	健康(4) ・健診項目の内容、メディカルチェックについて学ぶ。	小テスト 講義	健診項目の内容と基準値、運動を始める前のメディカルチェックの重要性について説明できる。	(予習)教科書 p(80-104)をよく読み、ノートにまとめる。 (復習)授業を復習し、内容をまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力
5週 /	放射線(1) ・代表的な電離放射線について学ぶ。 ・放射線の生体への影響について学ぶ。	小テスト 講義	代表的な電離放射線の特徴が説明できる。 放射線の生体への影響について説明できる。	(予習)教科書 p(10-12)をよく読み、ノートにまとめる。 (復習)授業を復習し、内容をまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力
6週 /	放射線(2) ・代表的な非電離放射線の特徴や生体への影響について学ぶ。 ・オゾン層破壊や地球温暖化の仕組みを学ぶ。	小テスト 講義	代表的な非電離放射線の特徴や生体への影響が説明できる。 オゾン層破壊や地球温暖化の仕組みが説明できる。	(予習)教科書 p(10-12)をよく読み、ノートにまとめる。 (復習)授業を復習し、内容をまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力
7週 /	水環境(1) ・上水道の基本的な仕組みについて学ぶ。	小テスト 講義	水道水が供給されるまでの基本的な仕組みについて説明できる。 上水道に関する規制や注意点について説明できる。	(予習)教科書 p(20-23)をよく読み、ノートにまとめる。 (復習)授業を復習し、内容をまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力
8週 /	水環境(2) ・下水道の基本的な仕組みについて学ぶ。	小テスト 講義	下水が浄化される基本的な仕組みについて説明できる。 下水道に関する規制や水環境に関する注意点について説明できる。	(予習)教科書 p(13, 20-23)をよく読み、ノートにまとめる。 (復習)授業を復習し、内容をまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	代表的な化学物質 ・ダイオキシン、シアン、アスベストについて学ぶ。 ・これまでの講義をふまえ、発表に向けた課題を課す。	小テスト 講義 課題	ダイオキシン、シアン、アスベストに関する歴史や規制について説明できる。	(予習)教科書p(13-17)をよく読み、ノートにまとめる。 (復習)授業を復習し、内容をまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力
10週 /	環境汚染の歴史 ・代表的な環境汚染の公害病である水俣病とイタイタイ病について原因や生体への影響と対策を学ぶ。	小テスト 講義	代表的な公害病である水俣病とイタイタイ病について、原因や生体への影響および対策について説明できる。	(予習)教科書p(17-18)をよく読み、ノートにまとめる。 (復習)授業を復習し、内容をまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力
11週 /	現代の環境問題への取り組み(1) ・生物濃縮、内分泌かく乱物質について学ぶ。 ・室内環境対策について学ぶ。	小テスト 講義	生物濃縮の仕組みや、内分泌かく乱物質の影響について説明できる。 室内環境対策について説明できる。	(予習)教科書p(18-20)をよく読み、ノートにまとめる。 (復習)授業を復習し、内容をまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力
12週 /	現代の環境問題への取り組み(2) ・大気汚染の原因と対策について学ぶ。	小テスト 講義	大気汚染の原因と対策について説明できる。	(予習)教科書p(13-15)をよく読み、ノートにまとめる。 (復習)授業を復習し、内容をまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力
13週 /	現代の環境問題への取り組み(3) ・産業廃棄物について学ぶ。 ・環境保全と法的規制について学ぶ。	小テスト 講義	産業廃棄物の種類や処分方法について説明できる。 環境保全の取り組みや法的規制について説明できる。	(予習)教科書p(23-25)をよく読み、ノートにまとめる。 (復習)授業を復習し、内容をまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力
14週 /	総まとめ ・これまでの講義を通して学んだ知識の総まとめを行う。	小テスト 講義 演習	單元ごとに学んだ知識を活かし、課題に対して効果的な対策を考案することができる。	(予習)教科書やノートをよく読み、これまでに学習した内容を確認する。 (復習)授業を復習し、内容をまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力
15週 /	発表 ・これまでに学んだ知識を活かし、最新の環境問題に関する情報を見つけ、自らの考えをまとめて発表する。	演習 討議 発表	これまでに学んだ知識を活かし、課題に対して専門家としての立場から分析、課題解決策の提案ができる。	(予習)発表内容を調査する。 (復習)発表内容の概要をまとめ、記録する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力